



家庭からふりかえる人権

話せてよかった



企画意図

人がそれぞれに持っている価値観の違いを認めて、相手を大切に思うことは、「人権」の基本的な考え方です。そして「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、夫婦や親子のような近く親しい関係性においては、相手を、そして自分自身を、一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。

本作では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気付き、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。



上映時間27分 [C#3514]

DVD 本体価格 66,000円(税抜)

字幕・副音声版付き

「解説書」「ワークシート」あり



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<https://www.toei.co.jp/edu/>

『手伝うんじゃなくて一緒に』 ～性的役割分担意識に気付く～

小林ミサキと夫のサトシは共働きで、娘のカナと三人暮らし。家事も育児も仕事もちゃんとしようと日々奮闘するミサキは、いつもいい加減なサトシに不満を募らせている。一方、サトシ自身は「妻に協力的ないい夫」の自覚があるため、ミサキの不機嫌な態度が理解できない。ある日、町内の自治会に参加したサトシは、近所の川端ハナエとの会話の中で、自分の思い込みや、ミサキとの間にある意識のズレに気付かされる。



『その人自身と向き合う』 ～偏見にとらわれない～



互いの仕事の忙しさが重なり、カナのお迎えについて相談するミサキとサトシ。サトシは「川端さんをお願いしてみたら?」と提案するが、ミサキは断固拒否する。川端の息子がひきこもっているという噂を聞いていたミサキは、根拠のない偏見から「もしカナに何かあったら」と心配し、関わるべきではないと主張する。そんなある日、不本意ながら川端の家を訪ねることになったミサキは、そこで川端の息子のリョウと遭遇し……。

『話せてよかった』 ～家族だからこそ確かめ合う～

サトシの母が初期の認知症と診断される。ミサキに負担をかけられないと考えたサトシは、ミサキには伝えず、母親本人の意思も確認しないまま介護施設を探し始める。後日、義母の認知症のことを知ったミサキは戸惑いながらも「ちゃんと話そう」とサトシに語りかける。自分の考えていること、感じていることをぼつぼつと伝え合い、確かめ合う二人。つかえていたものが流れていくように、次第に二人の表情が明るくなっていく。



プロデューサー：久慈麗人／山口多美子 脚本：守屋文雄 監督：長谷川知嗣

制作協力：株式会社グループ現代 企画・製作：東映株式会社 教育映像部

予告編配信!

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

2020年作品 p.

○本DVDは、ご購入いただいた官公庁(都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等)や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。

○本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。
・テレビでの放映 ・ビデオオンデマンド等による配信

○著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映することは著作権法違反となります。

○DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026

広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066

●お買い上げは……